

# 情報共有シート

NO.	法人名	氏名	ページ番号
1	株式会社笑顔いちばん	上床剛弘	1
2	株式会社笑顔いちばん	山口紘樹	3
3	社会福祉法人櫛会	渡邊 和高	5
4	医療法人ひさご	鬼頭智宏	7
5	株式会社ライフサポート	部田仁司	8

法人名	株式会社 笑顔いちばん	氏名	上床剛弘
<p>前回の宿題事項について、すでに実践していること（または、今後、実践しようと考えていること）を記入して、次回の定例会前にご提出下さい。</p>			
テーマ (作戦名)	<p><b>Point!</b> 何かを実行するには「ネーミング」が大事です！作戦名を考えてみよう！ 笑顔いちばん目標カードの定着化計画</p>		
実践のきっかけ	<p><b>Point!</b> まずは、現状を分析しましょう。                  &gt; 10月から全店舗で目標カードの見える化の為にご利用様の机に置くようにしたが意識しているのは機能訓練員と一部のご利用者様でなかなか介護スタッフに浸透していかない。                  また目標の聞き取りに関しても目標が曖昧であったり、具体的な目標が立たず維持の方もみえるのでどうしたら良い目標カードが出来るのか1から考え直す事にした。</p>		
目標	<p><b>Point!</b> 目標を明確に（具体的に）立てましょう。抽象的な目標は失敗します。                  &gt; 全スタッフがご利用様の目標を知り、理解する。                  笑顔いちばん目標カードを完成させる。</p>		
実施内容 (または実践計画)	<p><b>Point!</b> 実施内容は、そのプロセスをしっかりと見極めよう！                  &gt; ミーティングにてご利用様の目標についての勉強会を行う。なぜこのご利用様はこの様な目標を立てたのかを知る為に情報の共有を行う。                  機能訓練員勉強会にて話し合いを行い目標カードのひな型を完成させる。                  また目標の聞き取り方や設定の仕方も勉強していく。11/16 予定</p>		
実践の結果	<p><b>Point!</b> 実践した結果については、常に「成果」と「反省」を合わせて振り返ろう！                  &gt; ミーティングにて目標を情報の共有をした事で、スタッフのご利用者様との関りが増加した。また目標カードをツールとしての会話が増えて、そこから実はこんな事がしたい等の話が上がって来るようになった。ご利用様の運動への意識も高くなり目標に向けて頑張るといった方が増えている。                  反省としてはまだスタッフ全員とまでは言ってない事。共通認識・理解をして仕事にのぞんでいけばもっと成果は出る。自分自身とスタッフとのコミュニケーションももっと増やしていく必要がある。</p>		

貼付資料

実践の際に、作成した資料などがありましたら、資料として提出して下さい

資料① >

資料② >

法人名	株式会社笑顔いちばん	氏名	山口 紘樹
-----	------------	----	-------

前回の宿題事項について、すでに実践していること（または、今後、実践しようと考えていること）を記入して、次回の定例会前にご提出下さい。

テーマ (作戦名)	<p><b>Point!</b> 何かを実行するには「ネーミング」が大事です！作戦名を考えてみよう！</p> <p>相手をもっと知る、笑ってもらう</p>
実践のきっかけ	<p><b>Point!</b> まずは、現状を分析しましょう。</p> <p>&gt;一日を通してぼーっとしている方がいるため、もっとスタッフに一日の中で関わって欲しい、一日の中で刺激をもって生活ができる環境がまだできていない事で、一日の中でもっと笑っている時間を作りたいと実践中</p>
目標	<p><b>Point!</b> 目標を明確に（具体的に）立てましょう。抽象的な目標は失敗します。</p> <p>&gt;入居者様全員が、一日の中で笑って過ごせる時間を増やす。</p>
実施内容 (または実践計画)	<p><b>Point!</b> 実施内容は、そのプロセスをしっかりと見極めよう！</p> <p>&gt;入居者様の生活歴の再度洗い出し（職業、趣向品、生活様式等） ご家族様へのヒアリング 入居者様へのヒアリング</p> <p>一日の中で入居者様のやりたいことをできる時間を増やす。 時間の確保のために業務フローの見直しを行う（実践中）</p>
実践の結果	<p><b>Point!</b> 実践した結果については、常に「成果」と「反省」を合わせて振り返ろう！</p> <p>&gt;ヒアリングは継続中</p> <p>（成果）ヒアリングを行っている為、スタッフ間のコミュニケーションが増えている （成果）全員が一緒に過ごす時間（入居者様、スタッフ）が少しできてきている</p> <p>（反省）進捗がまばらで、期限を決めず行ってしまった。</p>
貼付資料	<p>実践の際に、作成した資料などがありましたら、資料として提出して下さい</p> <p>資料① &gt; 資料② &gt;</p>



法人名	社会福祉法人 樂会	氏名	渡邊 和高
-----	-----------	----	-------

前回の宿題事項について、すでに実践していること（または、今後、実践しようと考えていること）を記入して、次回の定例会前にご提出下さい。

テーマ (作戦名)	<p><b>Point!</b> 何かを実行するには「ネーミング」が大事です！作戦名を考えてみよう！</p> <p>目指せ！年間目標稼働率！！</p>
実践のきっかけ	<p><b>Point!</b> まずは、現状を分析しましょう。</p> <p>&gt;ブランド作りに関して、現状を把握する必要がある為、現時点での法人の強みは何か？を考えていく所から始まった。その中で、どのようになって頂くかを考え、ショートステイの受け入れを考えていった。</p>
目標	<p><b>Point!</b> 目標を明確に（具体的に）立てましょう。抽象的な目標は失敗します。</p> <p>&gt;またここを利用したい（リピーター）と思ってもらえ、稼働率をあげるまたは、年間目標に掲げている平均 90%を目指す。</p>
実施内容 (または実践計画)	<p><b>Point!</b> 実施内容は、そのプロセスをしっかりと見極めよう！</p> <p>&gt;空床に関して、事業所へお伝えする。（①事業所からの電話や苑への訪問時に直近 1 ヶ月程度のショートステイご利用できる期間をお伝えする。②病院（ロングショートステイ対象がメインだが）へ現在または今後の空き状況をお伝えし、受け入れが可能である旨を近隣の病院へ伝える）</p> <p>※現状コロナの関係で事業所訪問は難しい所があるが、可能な場合はパンフレットを持参し、営業へ回る。</p>
実践の結果	<p><b>Point!</b> 実践した結果については、常に「成果」と「反省」を合わせて振り返ろう！</p> <p>&gt;過去の受け入れや実績もあるが、現状、他事業所からショートステイご利用の連絡が入ってきている。今月の現時点での稼働率は85%程。来月は90%越えているが、平日のショートステイご利用者を増やす為にも、今後も継続して実践していく。</p>
貼付資料	<p>実践の際に、作成した資料などがありましたら、資料として提出して下さい</p> <p>資料① &gt;</p>

	資料② >
--	-------

法人名	医療法人ひさご	氏名	鬼頭智宏
-----	---------	----	------

前回の宿題事項について、すでに実践していること（または、今後、実践しようと考えていること）を記入して、次回の定例会前にご提出下さい。

テーマ (作戦名)	<p><b>Point!</b> 何かを実行するには「ネーミング」が大事です！作戦名を考えてみよう！</p> <p>洗顔・歯磨き・スクワット</p>
実践のきっかけ	<p><b>Point!</b> まずは、現状を分析しましょう。</p> <p>&gt;当事業所は運動に特化したデイケアです。デイケアに来ている時は運動に取り組めるが、日常生活では運動ができないと話す利用者様がいた。</p>
目標	<p><b>Point!</b> 目標を明確に（具体的に）立てましょう。抽象的な目標は失敗します。</p> <p>&gt;日常生活の中に運動するきっかけを取り入れる。可能な方には日常生活動作と同時に「ながら運動」をしてもらう。</p> <p>例）朝、洗面所で洗顔・歯磨きをする際に、同時にスクワットに取り組む。</p>
実施内容 (または実践計画)	<p><b>Point!</b> 実施内容は、そのプロセスをしっかりと見極めよう！</p> <p>&gt;まずはデイケアで行っており、なじみのある運動を選ぶ。</p> <p>運動の内容をご自身のみで再現できるようにする。</p> <p>その運動を行うことでどんな恩恵があるのかを確認し、運動を行うモチベーションを高める。チェックシートでどれくらいできていたかを把握する。</p> <p>自宅で行うと決めた運動を、日常生活のどの場面であれば行いやすいのかを担当スタッフと相談する。</p> <p>他の利用者がどんな工夫を行っているのか相談しあい、利用者同士でも運動を続けるためのモチベーションを高める。</p> <p>担当スタッフはチェックシートを確認して、できている時は前向きな声掛けをし、できていない時はその原因を探るようにする。</p>
実践の結果	<p><b>Point!</b> 実践した結果については、常に「成果」と「反省」を合わせて振り返ろう！</p> <p>&gt;まだ実践に移した取り組みはありません。まずはスタッフに作戦を説明する。</p>
貼付資料	<p>実践の際に、作成した資料などがありましたら、資料として提出して下さい</p> <p>資料① &gt;</p> <p>資料② &gt;</p>

法人名	株式会社ライフサポート	氏名	部田仁司
-----	-------------	----	------

前回の宿題事項について、すでに実践していること（または、今後、実践しようと考えていること）を記入して、次回の定例会前にご提出下さい。

テーマ (作戦名)	<p><b>Point!</b> 何かを実行するには「ネーミング」が大事です！作戦名を考えてみよう！</p> <p>続・武器（商品力）強化</p>
実践のきっかけ	<p><b>Point!</b> まずは、現状を分析しましょう。</p> <p>H30年10月にアットホーム（レスパイト重視）なデイサービスから機能訓練重視のデイサービスに転換する。地域ケアマネジャーへのお披露目も行い、稼働率が15%程度上昇している。しかし、転換から2年が経過し、改善されるお客様が余りに少ないため、諦めを感じている職員もいる。そこで、機能訓練の更なる強化、やる気向上を目指すこととした。</p>
目標	<p><b>Point!</b> 目標を<u>明確に</u>（<u>具体的に</u>）立てましょう。抽象的な目標は失敗します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>『歩く・動く』につながるプログラムの見直し</li> <li>新しい加算の取得</li> </ol>
実施内容 (または実践計画)	<p><b>Point!</b> 実施内容は、そのプロセスをしっかりと見極めよう！</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>現状把握             <ol style="list-style-type: none"> <li>①通所介護が置かれている状況を改めて整理する。</li> <li>②通所介護職員の想いの確認</li> </ol> </li> <li>通所介護職員との使命の共有</li> <li>専門職との連携模索</li> <li>プログラム検討会議、加算算定準備</li> <li>プログラムの実施</li> </ol>
実践の結果	<p><b>Point!</b> 実践した結果については、常に「成果」と「反省」を合わせて振り返ろう！</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>現状把握             <ol style="list-style-type: none"> <li>①会社方針の確認</li> <li>②他社情報収集</li> <li>③通所介護職員にブランディングチェックリストの実施、話し合い</li> </ol> </li> <li>通所介護職員との使命の共有             <ol style="list-style-type: none"> <li>①一部職員との話し合い実施。</li> </ol> </li> <li>専門職との連携模索             <ol style="list-style-type: none"> <li>①整形外科病院へのアプローチ</li> <li>②専門職採用に向けた面接</li> </ol> </li> </ol>
貼付資料	<p>実践の際に、作成した資料などがありましたら、資料として提出して下さい</p> <p>資料① &gt; 現状把握シート</p> <p>資料② &gt;</p>